(様式2（1）)

事業所名　グループホームまほろばの里

作成日：平成 24年　6月 20日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議には利用者や家族、町職員や地域の代表者等を招いて、日々の生活やサービスの取り組みについて報告しているが、活発な意見交換が行われているとはいえない。	運営推進会議に地域の実情やニーズを十分に把握している立場にある者に参加してもらい意見交換を行うことで、運営推進会議を充実させる。	地域の高齢者やそのニーズを把握している地域包括支援センターのケアマネージャーに、運営推進会議への参加を要請する。	2ヶ月
2	23	二ヶ月に一度満足度調査を行い利用者の希望や意向を把握しているが、その後のサービス提供に十分活かされていない部分もある。	全職員が利用者一人ひとりの希望や意向を把握できるように記録を工夫することで、サービスの提供に役立てる。	センター方式を利用し、介護･生活上の希望に関する利用者本人の発言や職員の気付きを一枚のシートに集約することで、利用者に関する情報を得やすいようにする。	2ヶ月
3	33	契約時に「重度化に関する指針」を説明しているが、重度化した場合の具体的な希望までは確認していない。	契約時に重度化した場合の意向を確認し記録に残した上で、重度化した場合には再度確認し、本人･家族の意向を第一に考えた支援を行う。	早い段階で、重度化した場合や終末期について本人･家族の希望を確認するためのアンケートを実施。その後はケアカンファレンス参加時等、随時気持ちに変化は無いかの確認を行う。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。